

「2024年3月ダイヤ改正について」に関する申し入れ提出!

JR東労組は「2024年3月ダイヤ改正について」の提案を受け、組合員と議論を積み重ねてきました。2024年3月ダイヤ改正では、北陸新幹線の金沢～敦賀間開業や東北・山形新幹線の一部列車にE8系を投入し速達性・利便性・快適性の向上が示されました。また東北・秋田・上越・北陸新幹線の増発や、東京駅始発の「はやぶさ」の臨時列車の増発は新型コロナウイルス感染症第5類移行に伴う利用状況回復にあわせての利便性の向上であると認識しています。そのような中で新幹線の日々の安全・安定輸送を担っているのは組合員・社員であり、コロナ前に戻りつつある国内外からのお客さま対応に苦慮しながらも各施策等に対し、自らの成長を描きながら真摯に向き合い安全第一で安定輸送確保に向けて日々励んでいます。

また、夜間作業時間拡大のための上越新幹線終電時刻繰り上げは、新幹線運行の安全を守り創り出すことが前提の施策であり、安全の確保は労使共通の課題です。そのような意味から、新幹線の運行に関わる安全を脅かす事象に対し、原因究明とその対策が必要であり、そのために組合員・社員の働きやすい職場環境を創り出すことは重要です。

よって、乗務に集中できる職場環境とするため、各職場の組合員の声を基に申し入れました。

【共通】

1. 柔軟な短時間行路の設定における目的および、メリットとデメリットを明らかにすること。
2. 柔軟な短時間行路を設定する対象行路を指定すること。また、行路確定は毎月25日の勤務発表時に行うこと。
3. 新幹線統括本部における乗務員相互運用の考え方を明らかにすること。
4. お客さま対応の観点から東京駅における折り返し時間の見直しを行うこと。
5. 新青森駅における出先点呼を円滑に実施できるよう、Wi-Fi環境の整備すること。
6. E8系現車訓練を対象社員全員に行うこと。

【盛岡新幹線運輸区(運転士)】

7. 盛岡新幹線運輸区運転士行路は、下記の通りとすること。
 - ① B501行路の拘束時間と労働時間A、B502行路の拘束時間がそれぞれ長時間となっているため、解消すること。
 - ② B525行路の新青森～青幹所間の便自時間を変更し、青幹所での間合い時間を拡大すること。

【仙台新幹線運輸区(運転士)】

8. 仙台新幹線運輸区運転士行路は、下記の通りとすること。
 - ① B303行路の拘束時間が長時間となっているため、解消すること。
 - ② B311行路(55B～3024B)(3028B～3041B)、B312行路(3016B～3027B)、B315行路(678B～217B)、B320行路(282B～275B)の間合い時間をそれぞれ拡大すること。

【仙台新幹線運輸区(車掌)】

9. 仙台新幹線運輸区車掌行路は、下記の通りとすること。
 - ① C2114行路(254B～127B)、C2115行路(1134B～3025B)の間合い時間をそれぞれ拡大すること。